

婦負の野



〒930-0143
富山県富山市西金屋6682番地
社会福祉法人めひの野園
TEL.076-436-0270
発行責任者 中田 区
(表題書)
高岡市中川上町3の31
(故)社浦 秋水先生



おいしいパンの訪問販売
ありがとうございます。

毎週木曜日、「やねのうえのガチヨウ」から、富山市神通本町にある当社においていただき、パンの販売をしていただいています。近くに食品を販売する店が無いこともありますが、会社に居ながら色々なパンの中から、好きな種類を選んで買えるため大変好評で、販売の準備が整う前から、我先にと買いに来る人や、「毎週木曜日の昼食は、やねのうえのガチヨウのパン」と、楽しみにしている人もいます。

パンの販売は、毎週木曜日の11時ごろに、元気な挨拶から始まり、30分ほど行われます。あんパンや、ガチヨウの顔をしたパン、チョコが入ったブラッキー、コロツケが入った調理パンなど、色々な珍しい名前のパンを見定めながら、一生懸命にパンを販売されているやねのうえのガチヨウの方と、「このパンは何が入っているか、甘さはどうか」など、楽しく話をしながら購入させていただいています。この光景は、私が転動してきた時から当たり前の光景で、休むことなく毎週続いています。

そんなやねのうえのガチヨウの方へ感謝したい気持ちから、ここ数年、会社のクリスマスパーティーに招待させていただき、わずかですがクリスマスプレゼントを贈らせていただいています。


これからも引き続きパンの販売を続けていただければと思います。

(東京海上日動火災保険株式会社富山支店

阿部 敏典)

この日、何の日？

4/2



World Autism Awareness Day

は世界自閉症啓発デー

発達障害啓発週間 4月2日～8日
～自閉症を知っていますか？～

2007年12月18日、国連総会において、カタール王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」(World Autism Awareness Day)とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。世界自閉症啓発デーが定められたと同時に、その日は「青い服を着て、青い物を持って、青いライトで夜を照らして、家の灯りを青に変えて、自閉症のことを周囲の人に知ってもらおう！」という運動が展開されてきました。この運動が後に、世界の建物や橋、タワー等をブルーにライトアップしようとする運動へと広がって行きました。

わが国でも、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間として、シンポジウムの開催や東京タワーを始め、各地でランドマークの「ブルーライトアップ」等の活動を行っています。

2014年「世界自閉症啓発デー」のポスターには、めひの野園の池田潤哉さんの絵「いわなとやまぶどう」が使用されています。昨年の自閉症啓発デーの東京タワーブルーライトアップ企画の中のパネル作品展に、池田さんの絵が展示されました。その展示での反響からか、「今年、ぜひ、池田さんの絵をポスターに使わせて欲しい」という依頼があったのです。全国の代表として、啓発デーの「顔」となったわけです。

ポスターの絵のみならず、池田さんの作品には、多くの人を魅了する、不思議な力があります。実際に、県内外の各種展覧会にも出品し、たくさんのお賞も頂いております。でも、このような作品が世に出るまでも、たくさんの不思議？エピソードがありました。自閉症の世界の不思議な感覚をご紹介します。

毎年4月2日は 国連の定めた **世界自閉症啓発デー**



発達障害啓発週間 4月2日～8日

自閉症を知っていますか？
自閉症の人は自分の心に閉じているわけではありません。私たちがよく見えることや、他人の言葉の裏面を理解することが苦手ですが、私財で一生懸命です。

世界自閉症啓発デー2014シンポジウム 開催
テーマ「共に生きる未来ーみんなで作る、やさしい世界ー」
3月29日(土) 10:00～18:30
会場 金社協・瀬尾ホール
東京都千代田区葛西7丁目3番2号

東京タワーブルーライトアップ企画 開催
※ブルーは色や形や質感など各表自由です。
4月2日(水) 18:30～22:00
会場 東京タワー
東京都港区芝公園4丁目2番8号
協賛 日本電波塔株式会社
世界各都市日本各地でブルーライトアップが行われます。

世界自閉症啓発デー日本実行委員会公式サイト
<http://www.worldautismawarenessday.jp/>

実は、池田さん、描いた絵は描き終えるとサツサと破いてしまうのです。そのため、作品を残すためには、描き終えた瞬間、そして、破ってしまう寸前に、絵を「取り上げ」なければなりませんでした。

また、どこに展示していても、自分の作品だと分かると、取り下げて破いてしまうという行動が見られました。何とかして展示できるようにと苦心したものでした。

どうして、せっかく描いた絵を破ってしまうのか？それが理解できない方もいらつしやるかもしれません。でも、池田さんにとっては、絵を破るまでが一連の行為であって、絵を破ることが「制作活動の終わり」を意味しているのです。池田さんにとって、描いた絵を眺めることや、絵を残すことは、絵を描く上での目的ではなかったのです。

「いわなとやまぶどう」

池田潤哉さん(うさか寮)の作品が、「世界自閉症啓発デー」のポスターに！



作品制作中の池田さん。この日のモチーフは「アスパラガス」。

以前は毎日絵画制作を行っていた池田さんですが、現在は、栽培・堆肥部門での仕事をする傍ら、週に1回の絵画教室で、制作活動を行っています。このスタイルになってから、作品を破く行為も減り、作品もどんどん増えていったのです。皆さん、想像できますか？この不思議な感覚・・・。

皆さんはこのエピソードを読んで、どのように思われますか？もし、興味を持っていただけたら、ぜひ、池田さんの作品をご覧ください。きっと、心揺さぶられると思います。不思議な魅力と、不思議な感覚を持つ、自閉症の方々・・・そんな彼らのことを知ってもらいたい、それが世界自閉症啓発デーです。

4月2日、全世界がブルーに染まります。ブルーにライトアップされたタワーを見て、「あれってなあに？」と聞かれたら、皆さんもぜひ、「あれは自閉症を知ってもらうための光なんだよ」と伝えてください。

(発達障害者支援センターありそ 上野 亜由美)

作業センターふじなみ

しいたけ直売始めました!



「作業センターふじなみ」駐車場の看板が目印です。しいたけ販売は売り切れ次第終了になるので、電話での注文が確実です。

今まではめひの野園アンテナショップ「フレンドリーショップ希望」や、富山市総曲輪の「地場もん屋」などで販売されていた椎茸ですが、この度、作業センターふじなみでの直売を始めました。

「作業センターふじなみの椎茸」といっても、まだご存じない方も多く、もっと多くの方に知っていただき、美味しい椎茸を味わっていただきたいという思いから、新たに看板を設置し、直売を始めました。

美味しい摘みたての椎茸をご希望の方は、ぜひ「作業センターふじなみ」にお越しください!



高級黒バック…400円



得用バック…500円



ちびっこしいたけ…300円

定休日：土・日・祝日
販売時間
10:00～14:00 (売り切れ次第終了)
お電話いただければ18:00まで
取り置きしておくことも可能です。

お問い合わせ
作業センターふじなみバックセンター
富山市西金屋6694-4
☎(076)436-5737

直売所では、朝に摘み取ったばかりの新鮮な椎茸を、グラム単位や金額単位で販売しています。生の椎茸以外に、人気のスライス干し椎茸もあります。

作業センターふじなみの椎茸は、何といっても肉厚ジューシーで、焼く、煮る、炒める、揚げる、いずれの調理法でも美味しくいただけます。

今の時期は、煮物やおでん、鍋物で召し上がっても美味しいですが、椎茸そのものの味をお楽しみいただくために、軽く焼いてしょう油を付けて食べていただくのがお勧めです。

めひの野園 祝! 成人

今年めひの野園では、作業センターふじなみの藤井厚暢(ふじいひろのぶ)さんと、春の苑の石野和樹(いしのかずき)さんが成人されました。

藤井さんは、仕込み作業棟屋上の培地乾燥ハウスから、乾燥した培地をパレット製造ハウスまで運搬する仕事をされています。石野さんは、春の苑で山歩きに出かけたり、旅行に出かけたりと、様々な行事に元気に参加されています。

成人おめでとございます!



重いダンボールも軽々と運ぶ力持ちの藤井さんです。



春の苑での書き初めに挑戦する石野さん。みんなから愛されるキャラクターです。



新たな門出を迎えた藤井厚暢さんのメッセージ

走り続けるやぶなみ



マイルド味(甘口)

バターを使い、まろやかな味に仕上げたマイルド味。飛騨地鶏の旨みとの相性が抜群のカレーです。

飛騨地鶏カレーはい・か・が？



スパイシー味(中辛)

コク深く、ピリ辛に仕上げたスパイシー味。ピリ辛といっても、それほど辛すぎることはなく、お子様でもお召し上がりいただけます。

ウォーム・ワークやぶなみの「飛騨地鶏カレー」は、めひの野園のアンテナショップ「フレンドリーショップ希望」で販売中！

1箱630円(増税後は650円になります。)

お問い合わせ

ウォーム・ワークやぶなみ 食彩部門

担当：上田 智華 ☎(076)434-5895

満足する味、辛さ、色を追い求め…

ウォーム・ワークやぶなみ「食彩部門」では、「地鶏部門」で生産された飛騨地鶏肉を使ったカレーの販売を始めました。

製作期間は約半年。試行に試行を重ねて、ようやく完成した「飛騨地鶏カレー」には、贅沢にも飛騨地鶏の鶏肉に加え、手羽元が丸ごと一本入っています！

スパイシー味と、マイルド味の2つの味で新登場の「飛騨地鶏カレー」。是非一度ご賞味ください！

年末に行われた全体職員研修会で、理事長が「福祉とは、人を幸せにすることである。」と発した言葉を受けて、私は忘れていたことを思い返したように、ハッと目が覚める思いがしました。「幸せってなんだだろう?」「私達が果たしていく役割はなんだだろう?」と今一度考えさせられた一言でした。

今私は、やぶなみで利用者のみんなと力を合わせて、工賃向上のために、めひの野園を代表する伝統の味、ふきのとうみそや、たくあんを作り続けています。思うように前に進まない時は、保護者の方、利用者、職員の力を借りて少しずつではありませんが、工賃向上に努めてきた次第です。

しかし、工賃向上は人を幸せにする一助にすぎません。その先にあるものに目を向けて取り組んでいかないと、人を幸せにすることは出来ない

のではないかと、理事長の言葉を受けてから、日々心に思っています。

私自身、めひの野園に勤めて今年で20年という節目の年を迎えます。これまでに、たくさんの方の利用者と関わってきましたが、何か大切なことを置きっぱなしにしているようで、反省させられる毎日です。

利用者のことを理解することとは容易なことではありません。年齢層も幅が広く、一人ひとりのニーズも当然異なります。だからこそ、これからは一人ひとりが安心して生活できる環境、働きやすい環境を提供していくことと、利用者にとどのように接していけば、幸せな毎日を過ごすことが出来るのかということ、保護者の方の意見も伺いながら、共にベストな方法を見つけて、それを実現することが出来るように、一歩ずつ歩み寄り、日々精進していきたいと思えます。

群竹

muretake

めひの野園職員の
雑感コーナー

「温故知新」

今回の職員



ウォーム・ワークやぶなみ主幹
寺岡 しのぶ(食彩部門担当)

HOPE!



めひの野園のアンテナショップ「フレンドリーショップ希望」から、採れたて新鮮なおすすめ商品の紹介をしているこのコーナー。今回は、気さくで明るい店員さんを紹介します!

今回のイチオシ!

「気さくで明るい店員」

素敵な笑顔・・・0円



中田 直美さん

木曜日の10時から16時まで販売員をしています。
お客様にお勧めした商品を、後日「あ～、あの商品よかったわ～」と、また買いに来てくださるととても嬉しいです。
呉羽は一人暮らしのお年寄りが多い町。いつも来てくださる年配のお客様との会話がとても楽しいです。

◆おすすめ商品
なんといつてもめひの野園の卵「呉茶玉」。おいしくて安心安全!我が家にも必ずあります。



沖村 富美子さん

水曜日の10時から16時までの販売員です。
人と話をするのが大好き!希望のお店に来てくださる「人生の先輩方」との会話が楽しくてしょうがなく、一生販売員をしたいくらい!
ただ、計算が苦手なので、お金の扱いに苦労しています。間違いなくするのが毎回大変!

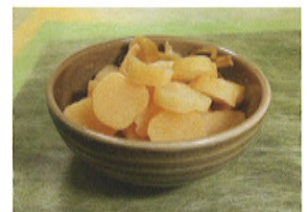
◆おすすめ商品
作業センターふじなみの「ちびっこしいたけ」。切らなくてもいいから手間も省けるし、長期保存も可能。なによりもおいしい!



フレンドリーショップ希望
〒930-0138 富山市呉羽町 7026
(アルビス呉羽東店敷地内)
☎(076)434-2040

希望ニュース「季節限定!たくあん販売中!」

昔ながらの懐かしい味のたくあんが、季節限定で販売中です。めひの野園を代表するロングセラー商品で、開設当初から、変わらない味で作り続けています。毎年楽しみにしてくださっている方も多く人気商品です。
富山市北代産の美味しい大根を、米ぬか・ザラメ・醤油・酢・塩・唐辛子で1本ずつ丁寧に漬け込みました。もちろん無添加で、昔ながらの自然な味わいをお楽しみください。
フレンドリーショップ希望、地場もん屋総本店等で販売中です。(1本:250円)



(販売促進委員会 福居 千香)

とっくおまき・めいの

クリスマス会・忘年会特集

昨年末、各事業所でクリスマス会・忘年会が開催されました！賑やかな写真がたくさん届きましたので、ご紹介します！

春の苑 2013年12月10日(火)

春の苑クリスマス会&忘年会を行いました。やぶなみのオードブルやガチョウのピザ、サンドイッチをお腹いっぱい食べたあとで、プロマジシャンのHARUKIさんによるマジックショーを観賞しました。最後にサンタさんから一人ずつプレゼントをもらい、皆さんとても嬉しそうでした。



梨の木苑 2013年12月1日(日)

梨の木苑の皆さんは、立山国際ホテルで一泊し、宴会やお風呂を楽しんできました。忙しい日常を忘れ、ゆっくり羽根をのばしてきました。



いわせの 2013年12月19日(木)

いわせのでは園長先生や、富山国際大学の学生さんも招いてクリスマス会を開きました。学生さんたちにアカペラの素敵な歌声を披露してもらったり、皆さんもカラオケを歌ったりして楽しみました。



やぶなみ 2013年12月25日(水)

12月25日にクリスマス会をしました。園長をお招きして食彩部門お手製の飛騨地鶏の唐揚げや、お寿司、ケーキを食べ、みんな満足気な様子でした。



しいたけくん

第32回 戦いに敗れても君は美しい?の巻

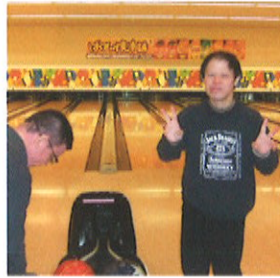


P.S この後のリク五輪でも... (描・おかちん)

やねのうえのガチャウ

2013年12月7日(土)

呉羽駅から電車に乗って小杉駅まで移動して、クアトロブームでカラオケとボウリングに分かれて楽しんだ後は、ココスで夕食を食べました。



作業センターふじなみ

2013年11月30日(土)

一年の労をねぎらい、そして、年末のしいたけ出荷の最盛期に向けて頑張れるよう、豪華でおいしい料理と飲み物をたくさん用意しました。食後は楽しみにしていたカラオケ大会が始まり、好きな歌を歌ったり踊ったりしました。見ている人も「いいぞー」、「うまいねー」などと声援を送り、笑いや拍手で、大いに盛り上がりました。

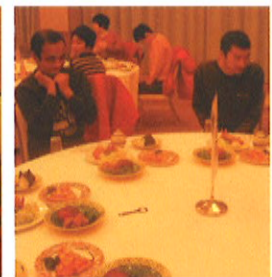
利用者からは「楽しかった!」「美味しかった!」「もっと歌いたかった!」の声を多く聞くことができ、楽しいひと時を過ごすことができました。



みしまの工房

2013年12月18日(水)

みしまの工房は毎年恒例、呉羽ハイツでの忘年会です。「みしまの工房特別メニュー」をお腹いっぱい食べ、カラオケで盛り上がりました。食後のコーヒーとデザートも忘れず、しっかり食べてきました。



各事業所の忘年会・クリスマス会は、「NHK 歳末たすけあい」より助成をいただき、開催されました。ありがとうございました。

「NHK 歳末たすけあい」は、共同募金を通じて、国内の福祉施設や支援を必要とする方々のために役立てられています。

(財)前川報恩会による作業センター ふじなみの「ペレットストーブ」 整備完了

(財)前川報恩会より助成金をいただき、作業センターふじなみ食堂に「ペレットストーブ」を整備いたしました。

これにより、当事業所が行っている菌床椎茸一貫生産で発生する廃棄菌床を再利用することでエネルギーの有効活用が出来、また利用者の休憩や昼食時に暖かい空間を提供できるようになりました。ここに事業完了の報告を申し上げますとともに、感謝の意を表します。

記

- 一、総事業費 五九二、六二〇円
- 一、助成金額 二〇〇、〇〇〇円



第21回富山新聞社杯争奪 呉羽野球リーグ戦 第3位

めひの野園野球部は、呉羽地区の野球チームで争われた第21回富山新聞社杯争奪呉羽野球リーグ戦において、6勝2敗で第3位の成績を収めました。また、河合佑太郎選手が「最多勝利投手賞」に輝きました。



最多勝利投手賞に輝いた河合選手

平成二十五年富山県「北日本放送」 社会福祉事業基金による物品贈呈

この度、富山県「北日本放送」社会福祉事業基金より物品贈呈が行われ、うさか寮にリカベイントバイクとアングルマットが寄贈されました。利用者の健康増進のために使わせていただきます。ありがとうございます。



リカベイントバイク



アングルマット

後援会名簿

- (H25・11・7～H26・2・28) 敬称略
- 林山 いち子 富山市
- 増田 羊子 射水市

後援会振込口座番号
北陸銀行五福支店 店番号140
普通預金4250590
めひの野園後援会

ご寄付ありがとうございました。

(H25・11・5～H26・2・6) 敬称略

- 西金屋自治会 富山市
- 佐藤理容院 富山市
- (協)富山県社会福祉協議会 富山市
- 石橋 孝史 富山市
- 富山国際大学 富山市
- 富山大学 富山市
- 今井 哲治 富山市

来訪者

(H25・11・7～H26・2・10) 敬称略

寄付金振込口座番号
北陸銀行五福支店 店番号140
普通預金4041542
社会福祉法人 めひの野園

- 北陸ビジネス福祉専門学校 富山市
- 大家 三穂 富山市
- 有岡 美恵子 富山市
- 麦谷 和夫 富山市
- 長井 憲治 富山市
- めひの野園保護者会 富山市

編集後記

広報「婦負の野」が、次号で百刊目を迎える。創刊号は、「うさか寮」が開設して半年後の昭和五十八年十月一日発行されているので、足かけ三十一号での百号である。

今あらためて創刊号を読み返してみると、現在のものと比べて、内容、編集等がかなり稚拙なものであったのだなと思わせる。近年は、広報委員会が中心となって、練り上げた編集になっており、かなり読みごたえ、見ごたえのある広報誌になっているのではないかと自負している。

そんな「婦負の野」に今回、「群竹」というコーナーを復活させてみた。職員のリレーという形で、「各々の雑感を綴っていきこう。」と思って復活させた。

わが宿の いささ群竹 吹く風の音のかそけき この夕べかも
万葉集のいろいろな書物の中で、秀逸であるといわれている、大伴家持の「春愁絶唱三首」の中の一首である。グループホーム「群竹寮」の命名の由来ともなっているこの歌は、ちょうど今頃の春の愁いを、家持が奈良の自宅で詠んだ、何とも物悲しい一首である。「群竹」が、とこしえに続いていること願っている。

(匡記)